

建設産業情報（最近の動向）
（2014年7月1日～7月31日）

在外公館名 在サウジアラビア日本大使館

記入日 2014年8月11日

1. 現地の建設工事に係る経済情報（建設投資の状況に関する月例報告など）
該当なし

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向
該当なし

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	マッカ州は、マッカ・メトロ事業土木部分に関し、10の国際的コンソーシアムに対して入札資格を与えた。契約は10月前半に締結され、2015年中に着工、2017年に試験走行開始、2020年初めには完工する予定である。	8日 サ紙
2	オーストリアのVA Tech Wabag社は、6百万ユーロでAl-Kharj工業団地の排水処理設備を受注した。処理量は一日当たり1万m ³ で、処理水は工業団地内の二次水として再利用される。完成予定は2015年。	9日 MEED紙
3	9日に降った豪雨により、ジーザン南部の道路が洪水によって通行不可能となり、通勤者が立ち往生した。	10日 ア紙
4	サウジ水公社（NWC）は、ジッダで上下水道に関する8つのメガ・プロジェクトを実施している。総事業費は19億SRである。	15日 エクサディア紙
5	フランスのSystra社は、ジッダ・メトロ事業の工学的基本設計事業を受注した。契約額は2億2600万SRで、契約期間は20カ月である。17日に行われた署名式には、マンスール・ビン・ムトイブ都市村落大臣兼ジッダ交通委員会委員（殿下）、ミシャル・ビン・マージド・ジッダ県知事（殿下）、およびミシャル・ビン・アブドゥラー・マッカ州知事兼ジッダ交通委員会委員長が参加した。	19日 ア紙
6	民間航空局は、2020年までにサウジの空港のキャパシティを1億人に増加させる計画を明らかにした。この計画には、地上のサービスや取扱いセンター、貨物や機体の供給における競争力を高めることも目的としている。	20日 エクサディア紙、リヤド紙

7	アシール州知事は、10日以内に水不足を解決すると約束した。海水淡水化公社の技術者によると、水不足は技術的な問題によって引き起こされており、解決に向けて全力で取り組むと述べた。	25日 ア紙
---	---	-----------

(注：ア紙：アラブニュース紙、サ紙：サウジガゼット紙)

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

労働に関する報道

- 1日 商店の営業時間を午前6時から午後9時までとする法律が今年末には施行される見込み。ラマダン期間中は各商店の自主的判断に任されるが午前2時までが限度である。商店の労働時間の制限はサウジ人、特に女性の雇用促進につながるかと期待されている。(ア紙)
- 2日 違法外国人労働者取締りにより、小売部門における雇用の空きが見受けられるようになったが、多くの企業経営者によると、それらの仕事はサウジアラビア人にとって魅力的なものとして映ってはいない。(ア紙)
- 5日 労働省は、6日から家庭内労働者がスポンサーを民間企業へ移転することを禁じる。家庭内労働者とは、個人の下で働く運転手、守衛、掃除夫、給仕夫、庭師、家庭管理者、および家政婦を指す。(ア紙)
- 8日 運輸省と労働省は、6万の雇用を生み出す新タクシーサービスを開始すると述べた。第一段階として、リヤドで500台のタクシーと600人のドライバーを雇う。サウジのリムジン・サービスの質を改善するとともに、ドライバーをサウジ人化することが目的。(ア紙)
- 10日 労働者不足などの理由で官庁関連建設工事の40%が中断している。サウジ商工会議所連盟全国建設業者委員会のAl-Hammadi委員長は、撤退した1,500の業者がブラックリストに載るかもしれない、と語っている。アブドゥラー国王金融都市などのメガ・プロジェクトで完成期間の1年延長が認められたケースのように、中小案件についても同様な対策が望まれる。中断した官庁プロジェクトは6万件、総額1千億SRと試算されている。(ア紙)
- 10日 400人のサウジ人女性が携帯電話会社Mobilyによって行われた携帯電話のプログラミングとメンテナンスの訓練を終え、今後労働市場に参入することが期待される。(ア紙)
- 11日 専門家によると、サウジ国内の建設業は夏の高い気温とラマダンの影響で生産性が40%低下しており、多くの事業が遅延している。影響を受けたメガ・プロジェクトはリヤドのキング・アブドゥラー金融地区、ハラマイン高速鉄道事業、マッカ開発事業、ジッダのキング・アブドルアジズ国際空港事業、その他インフラ事業である。(ア紙)
- 11日 ラマダン中の勤務体制の改善を求める声が相次いでいる。特にラマダン開始初期の1～2週間の能率低下が顕著で、公的機関の昼間のサービス低下に対して夜間へのシフトを含めた能率の向上が模索されている。ラマダンの午前中は睡眠不足に陥りがちであることが夜間シフトを要望する背景にある。(ア紙)
- 13日 社会保険機構(GOSI)は、8月31日からSaned(失業保険スキーム)を開始する。加入者はスキームに対して月給の1%を支払い、最低12か月間登録されていなくてはならない。(ア紙)

- 14日 サウジ人材開発基金は学生の為に夏期休暇中に 30692 もの訓練機会を与え、これには 12148 もの民間企業でのOJTと、8544 の訓練センターでの機会も含まれる。(リヤド紙)
- 15日 小売店で働くサウジ人女性の64%が労働時間の不満から仕事辞めることを考えているというアンケート調査結果が発表された(ア紙) 18日 サウジアラビア通貨庁(SAMA)の数字を参照したアル・エクサディーヤ紙の報道によると、2013年度の外国人労働者賃金は25%増となった一方、サウジアラビア人賃金は1%減となった。(ア紙)
- 18日 アブハー商工会議所の報告書によると、アシール地方の失業率が高い理由は、多くのサウジ人の若者が民間企業に勤めたがらないためである。アブハー商工会議所は2013年から2014年にかけて2回の就職説明会を行い、7,996件の求人を出したが、申し込みは2,359件だけであった。(ア紙)
- 19日 サウジ都市村落相は、行き過ぎたサウジ人化政策の結果、優秀な技術者が高給で民間部門に引き抜かれ、業務に支障をきたしており、労働省が人員補充に適切な対応策をとっていないと批判した。(サ紙)
- 26日 労働省は小売業で働く専門家に対し、オンライン職業試験システムを導入する。これは工場やメンテナンスなどの特殊な業種で働くサウジ人、非サウジ人に対して義務化され、素人が特殊な業種で働くのを抑制することが目的。テストに合格すればライセンスが自動的に交付される。(ア紙)

(注：ア紙：アラブニュース紙、サ紙：サウジガゼット紙)